

小樽の昔話取材 樽商大生が冊子

「小樽のひとに学ぶ」

小樽商科大のグローバル戦略推進センターが小冊子「小樽のひとに学ぶ」の2018年度版「写真」を製作した。学生が授業で小樽の飲食店主や文化人ら20人に行ったインタビューを収録。小樽の歴史や魅力の一端を伝える内容となっている。

小樽商大では近年、学生たちが授業の一環で小樽に住む人々に取材。昔話を聞きながら地域の特色や課題を学んでいる。

学生によるインタビューをまとめた小冊子「小樽のひとに学ぶ」は昨年に続いての作製で通算3冊目。今回はB5判51ページで、地元グルメ「あんかけ焼そば」の普及に携わった老舗中華料理店主やニシンが不漁にな

ってホタテの養殖に取り組んだ祝津の漁師、潮太鼓の保存会長など多彩な20人の話を収録。都通り商店街振興組合の理事長が中心商店街の歩みを語った講演も掲載している。

今回は50部だけの印刷で、市立小樽図書館などで閲覧できる。電子版は小樽商大ホームページ内の「学術成果コレクション」のページで公開している。アドレスは<https://barrel.repo.nii.ac.jp/> (森川潔)

躍動感あるダンス多彩

小樽で5団体

小樽市内のダンススクールなどが出演する「OTARU DANCE@MOV Vol.6」(小樽市民会館主催)が21日、同館で開かれ、総勢約250人が躍動感あふれるダンスを披露した。

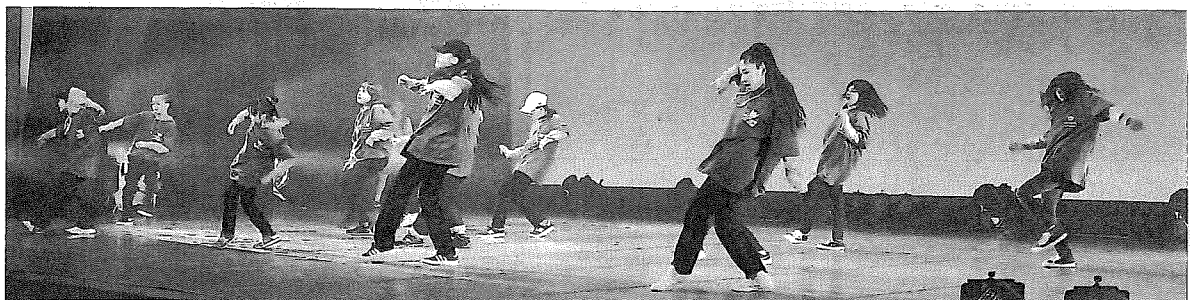
各団体の技術向上を図る目的で開催。小林ダンスアカデミー、ソプラティコダ

ンススクール、スタジオフラスシユ、HOORAY、小樽商科大ダンスサークル「AXCEL」の計5団体が参加した。

声援が飛び交う中、音楽のリズムに合わせてヒップホップやジャズ、ブレイクなど多彩なダンスを披露。全身を使った迫力ある踊りに、約900人の観客から大きな拍手が送られた。

HOORAYの上滝真生子さん(20)は「緊張したが、練習してきたことをステージで出せて良かった」と充実した表情で話した。

(前野貴大)



躍動感あふれるダンスで観客を魅了する出演者たち